

令和8年度 七条中学校 学校教育目的・目標

【京都市の目指す子ども像】

「伝統と文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」

【令和8年度 京都市重視する視点】

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」を高める

【学校教育目的】

豊かな人間性と未来社会の中でよりよく生きていける力の育成

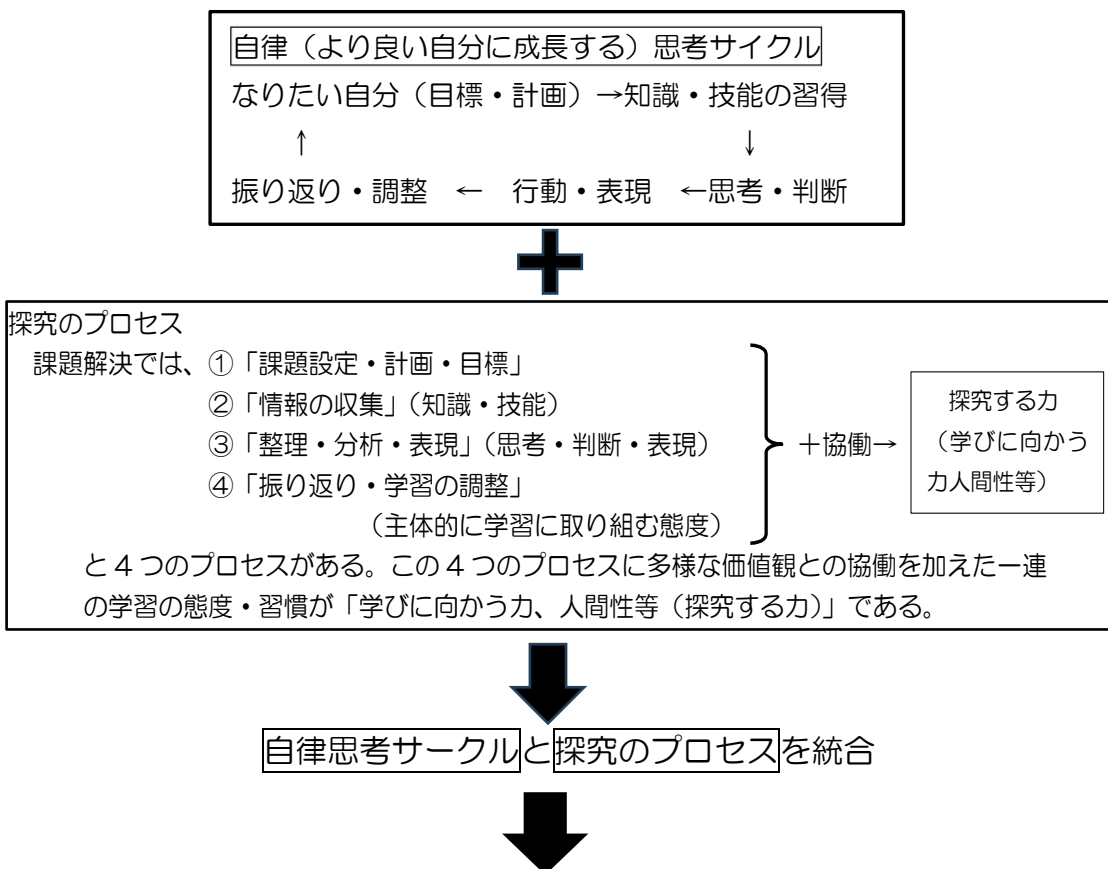
【学校教育目標】

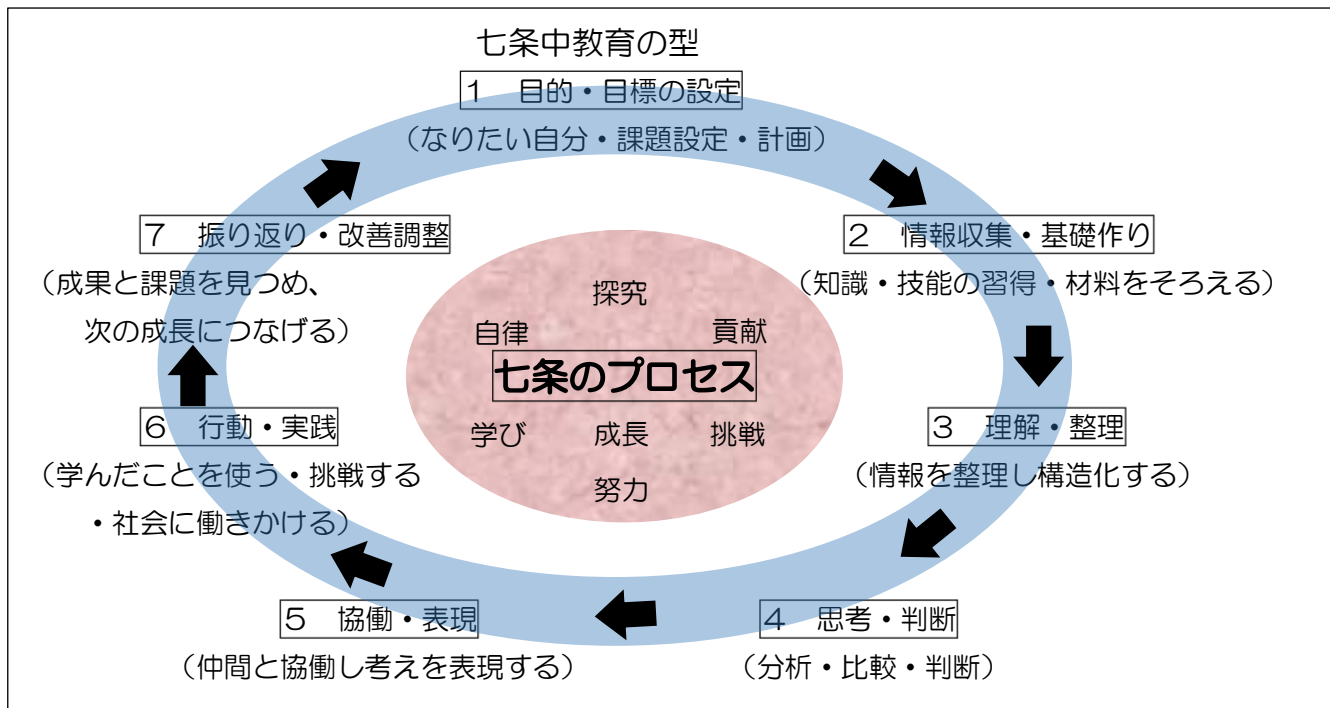
令和8年度 「自律（自己指導力の育成）
探究（探究する力の育成）
貢献（協働・相互交流力の育成）」

自律・・・自己指導力→※発達支持的生徒指導を加味した、自己肯定感・自己決定
・共感的理解
※生徒が自発的・主体的に成長・発達する過程を支える生徒指導の在り方です。

探究・・・自ら（自分たちで）課題を発見し、解決に導いていける能力。また、その中で新たな価値を創造するなど、学び続ける力。

貢献・・・共通の目的を達成するために、多様な他者がお互いの特性を意識・尊重し合い対等な立場で、課題の解決に向けて協働（協力・協調）し、対話で解決する力。（相互交流力） 伝統と文化に学び、未来社会の創造と貢献する力。





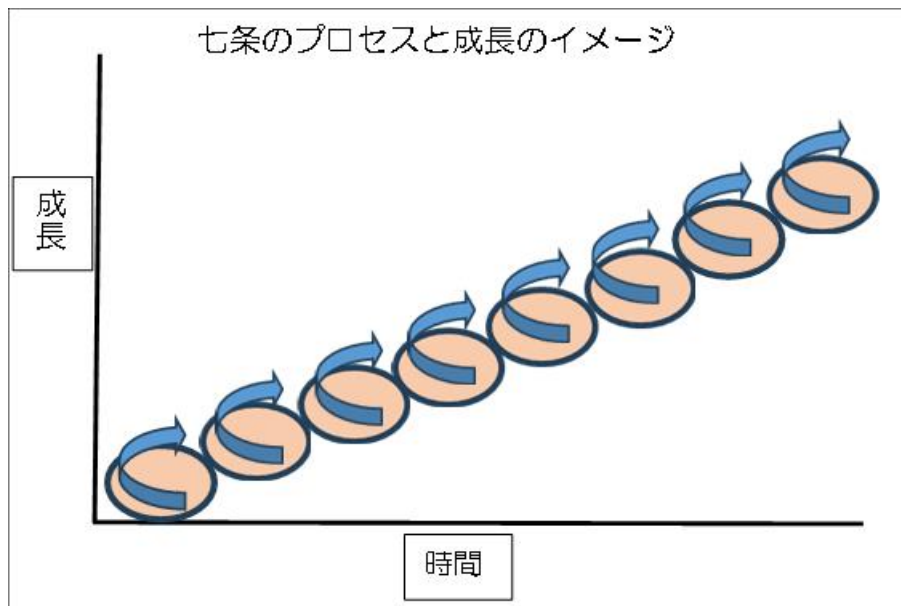
【七条中教育の型】

本校では、生徒一人ひとりが主体的に学び、自ら成長し、他者と協働して課題を解決する力の育成のため、すべての教育活動を「七条のプロセス」（七条中の教育の型・循環モデル）に基づいて展開します。「七条のプロセス」は自己実現・目的達成に向けた「**自律**・**探究**・**貢献**・**学び**・**挑戦**・**努力**・**成長**」の在り方を体系的にしたものであり、従来あった自律のプロセスと探究のプロセスを統合した本校独自の教育の型です。結果を評価するのではなく、上記のプロセス（過程）を重視し、生徒の変容（成長）を評価することが大切と考えます。授業・総合的な学習の時間・学級活動・生徒指導・行事・部活動・生徒会活動・特別支援など、学校教育活動の全ての共通の基盤（七条中教育の型”＝“七条のプロセス）として位置づけることで、生徒・教職員が同じ方向性のもとで教育実践に取り組み、生徒の学びと成長を一貫した視点で支援することを期待しています。

【七条のプロセス 7ステップ】

- ① 目的・目標の設定
 なりたい自分や解決すべき課題を明確にし、学びの方向性を定める。
- ② 情報収集・基礎作り
 必要な知識・技能を身につけ、学びの土台を整える。
- ③ 理解・整理
 得た情報を整理し、分かりやすく構成することで理解を深める。
- ④ 思考・判断
 比較・分析・推論を通して、自分の考えを形成する。
- ⑤ 協働・表現
 多様な他者と協働し、考えを共有・表現することで学びを広げる。
- ⑥ 行動・実践
 学んだことを実際の行動に移し、挑戦し、社会や周囲に働きかける。
- ⑦ 振り返り・改善調整
 結果を踏まえて自らの学びや行動を省察（自ら省みること）し、次の成長につなげる。

七条のプロセスを様々な教育活動で繰り返すことで下記の「目指す資質・能力」の獲得を目指す。



【目指す資質・能力】

- ① **自己指導力** 自己判断・決定力・自己調整力（自己肯定感 共感的理解）
- ② **探究する力** 課題解決力（課題設定 情報選択 活用力 分析力 論理的思考力 忍耐力創造力）
- ③ **相互交流力** 協働力・コミュニケーション力（協調性 調整力 表現力 多様性の尊重
助け合い）

【令和8年度本校の重点】

- ① 生徒・教職員が「七条のプロセス」を意識した全ての教育活動での実践
- ② 自己指導力の育成
- ③ 探究（課題解決）力の育成
- ④ 相互交流力の育成
- ⑤ 生徒の挑戦や成長を日常的に支えることを大切にする
- ⑥ 教職員のウェルビーイング

【目指す生徒像】

生徒行動目標 ～人・学・和を大切にできる生徒～

- ① 自分を大切に、人を大切にできる生徒 **自己指導力**・**相互交流**
- ② 自ら（自分たちで）学び、自ら律することができる生徒 **探究する力**・**自己指導力**
- ③ 互いの多様性を尊重し、対話の中で合意形成ができる生徒 **相互交流力**
- ④ 健康で心身ともに逞しい生徒 **自己指導力**
- ⑤ 主体的に挑戦し、挑戦を支える生徒 **探究する力**・**自己指導力**

【令和8年度 具体的な取り組み】

- ① 「七条のプロセス」を軸とした、教育活動の実践
- ② 個別最適な学び・ユニバーサルデザインの推進
- ③ 課題解決（総合・授業）型の授業の研究

④ 家庭学習の推進

授業で学んだことが、生徒の興味・関心を生み、自発的に学びを深められるような取組

⑤ 授業者主体の授業→学習者主体の授業の研究

⑥ 発達支持的生徒指導を踏まえ、生徒の挑戦を支え、失敗を許容する風土を育む

【目指す学校像】

① 「七条のプロセス」を軸とした、教育活動の実践

- ・ 授業・学級活動・生徒指導・行事・部活動・生徒会活動・特別支援など、学校教育活動の全てに共通する“七条中教育の型”として位置づけ教育活動に取り組む

② 安全で安心して自分らしく過ごせる学校

- ・ 生徒の成長を日常的に支えることを大切にした生徒指導
- ・ 不登校・個別の課題に寄り添った支援と全ての生徒に丁寧な対応
- ・ 多様性を尊重し、いじめや差別・偏見を許さない生徒の育成
- ・ 自他を大切にしたい安心できる環境の中で、挑戦する生徒と支える生徒の育成

③ より良い学びに向けての授業改善を推進する学校

- ・ 資質能力の育成を目指した、主体的で対話的な深い学びの授業の実践
- ・ ICT等を活用した学習の更なる実践と個別最適な学習の研究
- ・ 「自ら（自分たちで）学ぶ力」と「自ら（自分たちで）律する力」を高める教育活動

④ 地域や社会に貢献できる生徒を育成する学校

- ・ 地域や社会の担い手として未来を創造する生徒の育成
- ・ 学校教育目的である「豊かな人間性と未来社会の中でよりよく生きていける力の育成」の実現のため、取組を推進する
- ・ 学校と学校運営協議会が連携・協働しながら学校教育目標を推進する



「豊かな人間性と未来社会の中でよりよく生きていける力の育成」

の基礎基本の定着を目指します。